

稽古場の照明はやや暗め。大音量のビートが響けば、気分はもうダンサー。



ヒップホップのルーツは1970年代のニューヨーク・サウスブロンクス。スラムの厳しい環境の中で育ってきた黒人が創りあげたものです。ビートの利いたラップミュージックのリズムに合わせ、アクロバティックに繰り広げられるストリート・ブレイクダンスがヒップホップ。

もともと男性中心だったヒップホップは、徐々に海外の女性ミュージシャンがビデオクリップの中でダンスを披露するようになって、女の子たちの間でも大ブレイクしました。今ではガールズ・ヒップホップこそ最もカッコイ

いダンスといえます。ヒップホップスタジオ「スタジオオム」のインストラクター・SAYAKAさんは「枠にはめず、自分の好きなように音にのることが大切です。自分の気持ちを表す動きを探して、自分らしくの。音楽を聞いてそれに合わせて体を動かすことは誰でもできますが、ダンサーは見られることを意識し、そこには「魅せる」という

要素が必要です」と言います。スタジオに通うのは10代から20代の若い女性たち。自分自身の個性を主張しながら、激しいスピードと躍動感たっぷりの90分のレッスンは熱気に包まれ、自由な開放感にあふれています。

SAYAKA'S STEP
SAYAKAさんのステップにチャレンジ!

- 開脚しながら屈伸。腕はあげて頭の上で組む。
- 1と同じく開脚屈伸。腕を頭の上で組む。
- 1と同じく開脚屈伸。腕を頭の上で組む。
- すばやく立ち上がり、左腕は体に寄せ、右腕は横へ伸ばす。
- 開脚しながら屈伸。腕はあげて頭の上で組む。
- 立ち上がりながら、頭の上で組んだ手をそのまま前へ振り下ろす。
- 最後の開脚屈伸。膝から上がパンパンになっても、笑顔で!
- 2と同じく立ち上がり、今度は左腕を横へ伸ばし、右腕は体に寄せる。
- このポーズを1拍保つ。胸を反らせて顔は天井へグッと向ける。
- 左手を軸に、奥にあった左足をいっきに90度回転!
- 左手を床につき、軸にして腕立て伏せのポーズに。
- 左足をしまうようにして引っ込め、開脚屈伸のポーズに戻る。

主張を持ったダンススタイル 全身をバネに、個性が輝くガールズ

Girl's Hiphop



動きを覚えたら、鏡で自分の踊りをチェック。腕の振り方や、腰の落とし方など、いかに自分がかっこよく「魅せる」かを研究する。



いちかわ



行徳駅前公園で毎年行われる市民まつりの舞台上で踊るのは、4回目。舞台の裏で「緊張して踊れないかも」と言っている人が、一度舞台上立つと「次の発表会はいつですか?」とやる気満々に変身。

Hawaiian Dance

おおらかで優雅な動きに秘めた オンナゴコロを表現



楽しく一緒に踊るリリア・クボノ奥山先生(左)と娘の苺草文枝さん(右)。「孫を加えて3代で踊ることあるんですよ」。

す。そうすることで踊りがより豊かなものになるからです。ハワイアンダンスには、古典スタイルの「カヒコ」と現代スタイルの「アウアナ」があります。本場の踊りをそのまま踊るのはなかなか難しく、リリア・クボノ奥山先生もハワイの家元の教室で勉強し、日本風にアレンジを加えて教えています。年を重ねても続けられるダンスとして通う人も、健康維持のために通う人も、みな、笑顔が輝き、教室にはいつでも和気あいあいとした空気が流れています。

神に捧げる踊りなので、肌はあまりださないのが本当のハワイアン。



裸足に、ココナッツのレイと花の髪飾り、長いワンピースの衣装。

ハワイ語の「フラ」が「踊り」を表すことから、一般的にフラダンスと呼ばれるハワイアンダンス。腰から下でリズムを取り、顔の表情で感情を、指の動きでさまざまな物語を語りかけていきます。ハワイの空と海を思わせる明るくおらかな音楽と、

シンプルで優雅な動きは、誰にでも楽しんで、親しみやすいダンスです。市の講座がきっかけでスタートを切った信篤ハワイアンダンス教室は、「アロハ」の笑顔の挨拶から始まります。そして、歌詞や振り付けの意味を勉強してから踊るようにしていま

踊る

特集 1
Let's Dance! in Ichikawa

音楽があり、リズムがあり、踊りがある…そしてそこには、限らない喜びと、楽しみがあります。さまざまな自己表現、踊り方で個性がどんどん引き出されていく。それがダンスの魅力です。さあ、一緒に踊りましょう!